

整備が進む

北近畿豊岡自動車道「和田山八鹿道路」

国土交通省豊岡河川国道事務所が整備を進めている北近畿豊岡自動車道「和田山八鹿道路」は、大部分が山地部を通るため、全長13.7kmにトンネルが5カ所、橋りょうが6カ所と、トンネルや橋が多い路線になります。

今回は、主にトンネルと橋りょう工事の進捗状況についてお知らせします。

養父市内で行われている工事の進捗状況

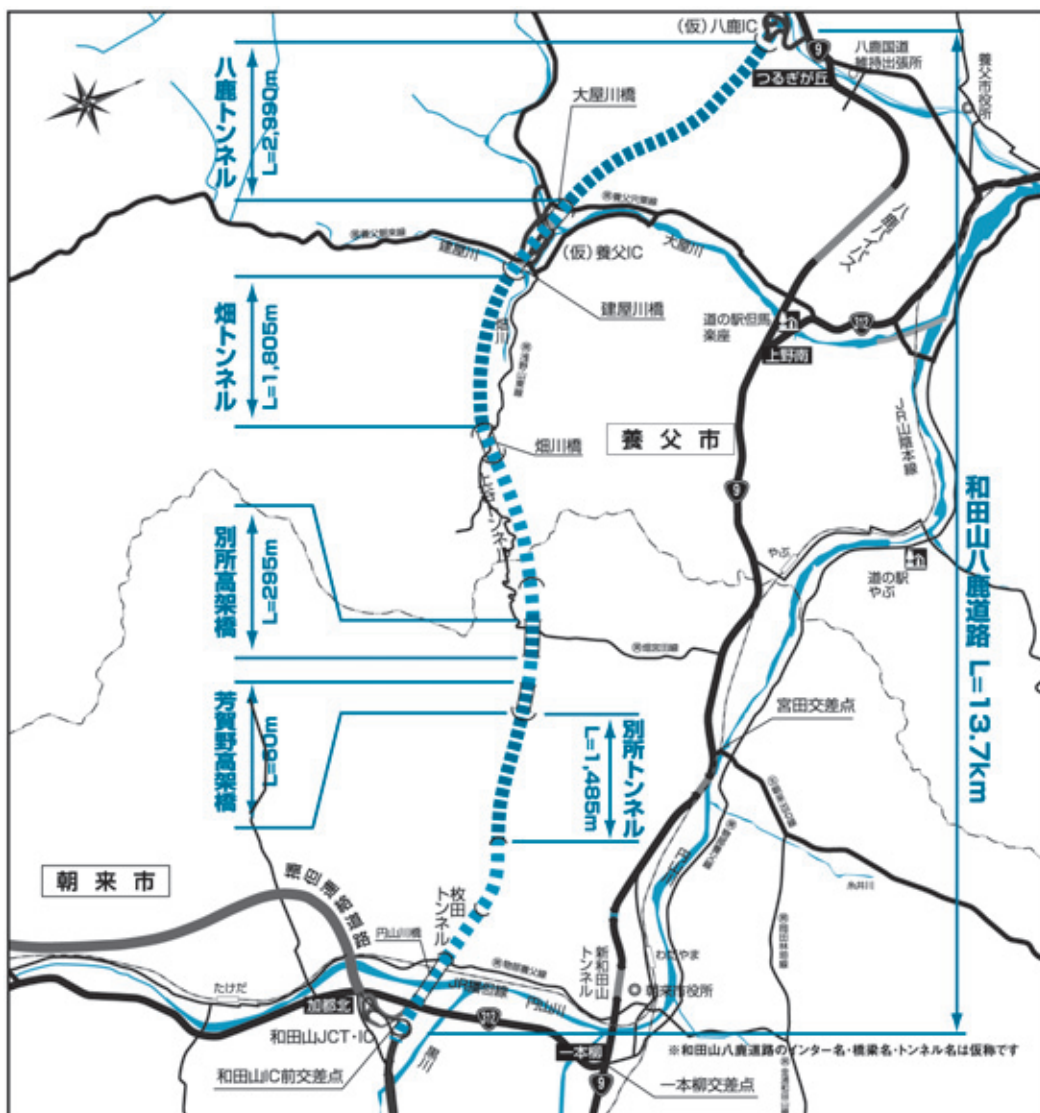
養父市内では、2月下旬から八鹿トンネル工事に着手しました。現在、トンネルを掘り進むための設備の設置や周辺整備を行っており、実際にトンネルを掘り始めるのは5月ごろの予定です。八鹿トンネルは、平成23年夏ごろの完成を目指して工事を進めています。

また、畑トンネル工事では、昨年からのトンネル本体を掘る工事に着手しており、現在は

全長1,805mのうち約4分の1を掘り進んだところで、畑トンネルは、平成22年末ごろの完成を目指して工事を進めています。

この他、(仮)養父インターチェンジや(仮)八鹿インターチェンジの盛土工事などについても早期完成に向けて工事を進めています。

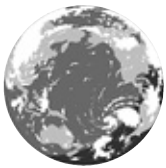
安全第一で工事を進めていきますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。





↑サンインシロカネソウ

↓オグルマ



環境に配慮した 工事を行っています

～「オグルマ」などの植物を移植しました～

和田山八鹿道路の工事区域内では、環境影響評価実施時に保全すべき植物として「サンインシロカネソウ」「アツミカンアオイ」「ヒユウガミズキ」「オグルマ」が確認されました。

サンインシロカネソウについては、生育するために日陰や湿潤状況などの微妙な条件が必要なため、現時点では自然環境のもとで生育するための適地は見つかっていません。このため、施設設置によって日陰ができる環境を整えて仮移植を行っています。将来的には、養父市内または朝来市内で生育適地を見つけ、本移植を行って自生させたいと考えています。

他の3種については、北近畿豊岡自動車道の施工済み区間に移植を行っています。現段階では、これら3種は、自然環境下での自生状況と同様の生育をしています。工事に伴って移植した植物については、今後も観察調査を継続して行い、生育状況を確認していきます。

和田山八鹿道路の事業では、引き続き植物に限らず環境に配慮をしながら工事を進めていきます。

★お問い合わせ★

国土交通省 豊岡河川国道事務所 工務第二課
☎ 0796 - 22 - 3126(代)



畑トンネル工事

平成21年2月4日撮影



八鹿トンネル工事(八鹿側)

平成21年2月17日撮影

朝来市内で行われている工事の進捗状況

朝来市内では、昨年からの芳賀野高架橋工事と別所高架橋工事を実施しており、橋を支えるための橋脚や橋台を設置する工事を行っています。

現在、芳賀野高架橋・別所高架橋ともに橋脚と橋台の工事はほぼ完成しており、引き続き橋を架ける工事を実施していく予定です。

また、別所トンネル工事では、昨年からのトンネル本体を

掘る工事に着手しており、和田山側から掘り進んでいます。現在は全長1,485mのうち約10分の1を掘り進んだところです。現在のところ、別所トンネルは平成22年末の完成を目指して工事を進めています。

また、その他のトンネル、橋りょう、盛土工事についても早期完成に向けて工事を進めています。



芳賀野高架橋工事

平成21年2月18日撮影